

総合政策学部

阿久澤利明

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (翻訳)阿久澤利明:ドイツ労働法. ペーター・ハナウ, クラウス・アドマイト著. 手塚和彰・阿久澤利明訳. 東京. 信山社, 2015年. 1-503.

伊藤 敦司

論文

1. 伊藤敦司:平成 26 年会社法改正に関する一考察(1).杏林社会科学 30(2):1-23,2014 年 9 月.
2. 伊藤敦司:平成 26 年会社法改正に関する一考察(2).杏林社会科学 30(3):1-16,2014 年 12 月.
3. 伊藤敦司:平成 26 年会社法改正に関する一考察(3).杏林社会科学 30(4):1-14,2015 年 3 月.

岩限 道洋

講演

1. 岩限道洋:法情報の世界. ロー・ライブラリアン研究会研修事業「法情報提供サービス入門」, 東京, 2014 年 6 月 27 日.
2. 岩限道洋, 松田正巳:支援法を考える—女性の健康包括支援法と障害者総合(自立)支援法. 健康福祉政策学会, 茨城, 2014 年 11 月 23 日.
3. 岩限道洋:支援法を巡る法的視点. 千代田学採択事業 現代都市生活の質・公開研究会, 東京, 2015 年 3 月 7 日.

論文

1. 岩限道洋:「支援法」を巡る法的視点. 精神保健福祉ジャーナル 響き合う街で 72:2-10,2015 年 2 月 28 日.
2. 岩限道洋:国公立学校における政教分離に対する批判的言説の検討. 杏林大学教職課程年報 創刊号:35-44,2015 年 3 月 31 日.

著書

1. 岩限道洋:法情報の世界. 法情報の調べ方入門. ロー・ライブラリアン研究会編. 東京. 日本図書館協会, 2015 年.

特許等知的財産関係, 報告書等

1. 岩限道洋:平成 26 年度 板橋区個人情報保護に関する外部評価委員会改善・提案事項報告書, 2015 年 3 月.

馬田 啓一

著書

1. 馬田啓一:通商戦略の論点:世界貿易の潮流を読む. 馬田啓一・木村福成編著. 東京. 文眞堂, 2014 年 6 月.
2. 馬田啓一:TPP 交渉の論点と日本:国益をめぐる攻防. 石川幸一・馬田啓一・渡邊頼純編著. 東京. 文眞堂, 2014 年 6 月.
3. 馬田啓一:国際関係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から—. 馬田啓一・小野田欣也・西孝編著. 東京. 文眞堂, 2015 年 2 月.
4. 馬田啓一:FTA 戦略の潮流:課題と展望. 石川幸一・馬田啓一・国際貿易投資研究会編著. 東京. 文眞堂, 2015 年 3 月.

その他(メディア出演)

1. (経済コラム掲載)馬田啓一:今夏の大筋合意はあるのか, TPP 交渉の募る不安. 世界経済評論 IMPACT, 2014 年 6 月 16 日.
2. (経済コラム掲載)馬田啓一:メガ FTA 時代の通商戦略:広がる中国包囲網. 世界経済評論 IMPACT, 2014 年 9 月 29 日.
3. (経済コラム掲載)馬田啓一:APEC の新たな争点:FTAAP 構想をめぐる米中の対立. 国際貿易投資研究所・フラッシュ 215, 2014 年 12 月 9 日.
4. (経済コラム掲載)馬田啓一:(巻頭コラム)21 世紀型貿易と

WTO の将来. 日本関税協会・貿易と関税 63(2), 2015 年 2 月 1 日.

5. (経済コラム掲載)馬田啓一:妥結か漂流か, TPP 交渉と TPA の行方. 世界経済評論 IMPACT, 2015 年 2 月 9 日.
6. (経済コラム掲載)馬田啓一:今春の大筋合意はあるのか, 楽観できない TPP 交渉の行方. 国際貿易投資研究所・フラッシュ 224, 2015 年 3 月 13 日.
7. (経済コラム掲載)馬田啓一:日本のメガ FTA 戦略の課題は何か. 世界経済評論 IMPACT, 2015 年 3 月 23 日.

その他(団体役員)

1. 日本国際経済学会常任理事
2. 日本経済学会連合評議員
3. (一社)世界経済研究協会理事
4. (一財)国際貿易投資研究所理事・客員研究員
5. 中央大学経済研究所客員研究員
など兼務.

岡村 裕

講演

1. Hiroshi Okamura:Introduction about Long-Term Care in Japan and the Global Issues. New Global Health Symposium, Oregon, the United States, June 5 2014.
2. 岡村 裕:これからの高齢者介護-誰がどのように担うべきか. 杏林大学公開講演会, 八王子, 2014 年 11 月 15 日.

著書

1. 岡村裕:外国人介護労働者受け入れ政策の新潮流. 国際関係の論点.馬田啓一・小野田欣也・西孝編著. 東京. 文眞堂, 2015 年. 41-47.

特許等知的財産関係, 報告書等

1. 岡村裕:高齢者介護におけるタスクフティングの可能性と課題に関する研究. 杏林 CCRC 研究所紀要:165-168, 2015 年 2 月.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. これからの高齢者介護. 健康福祉政策情報 70:1-2, 2014 年 10 月.

大川 昌利

著書

1. 大川昌利:成長の限界と「脱成長」論. 国際関係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から—. 馬田啓一, 小野田欣也, 西孝編著. 東京. 文眞堂, 2015 年. 196-205.

小野田欣也

著書

1. 小野田欣也:日本における地球温暖化対策の苦悩(第 11 章). 通商戦略の論点:世界貿易の潮流を読む. 馬田啓一・木村福成編著. 東京. 文眞堂, 2014 年 6 月.
2. 小野田欣也:地球温暖化対策と日本の対応(第 14 章). 国際関係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から—. 馬田啓一・小野田欣也・西孝編著. 東京. 文眞堂, 2015 年 2 月.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (社会活動)杏林大学大学院国際協力研究科国際開発専攻講演会司会, 2014 年 11 月 13 日.
2. (社会活動)馬田啓一「妥結か漂流か, 正念場の TPP 交渉と日本の対応」司会, 杏林大学大学院国際協力研究科国際開発専攻講演会, 2014 年 11 月 13 日.

その他(教育内容・方法の工夫)

1. 講義科目において, 講義の復習としての論述型出席確認, 確

認小テストの半期 2 回実施, パワーポイントの利用などを以前より実施していたが, 平成 26 年度は出席確認や小テストを基に, 期末試験前に第 1 次評価を行い公表し, 期末試験で第 2 次評価を行った。これにより履修者の授業理解度を高め, 合わせて単位取得機会を増加させた。

川村 真理

著書

1. 川村真理: 国連の人道活動におけるアカウンタビリティ—法の支配と人権に基づく新たな取組み—。国際関係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から—。馬田啓一, 小野田欣也, 西孝編著。東京。文眞堂, 2015 年。102-112。

北島 勉

講演

1. 北島勉: これからの国際保健医療—経済から見たグローバルヘルス—日本国際保健医療学会第 29 回東日本地方会, 東京, 2014 年 5 月 24 日。
2. Tsutomu Kitajima: A cost-consequences analysis of advanced health education intervention to reduce salt consumption for preventing cardiovascular diseases in high-risk patients in northern Thailand. 10th World Congress in Health Economics at Dublin, Ireland, 12-16 July 2014.
3. Tsutomu Kitajima: Developing a format to evaluate public private partnership projects in provision of health services in developing countries 46th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health at Kuala Lumpur, Malaysia, 17-19 October 2014.
4. 北島勉: 官民連携フォーマット活用によるマラリア対策蚊帳普及事業の評価。第 29 回日本国際保健医療学会, 東京, 2014 年 11 月 21-22 日。
5. Tsutomu Kitajima: Are HIV patients receiving antiretroviral therapy at health centers satisfied with the services? A cross-sectional study in northern Thailand. 日本国際保健医療学会第 33 回西日本地方会, 薩摩川内, 2015 年 2 月 28 日。
6. 北島勉: 国際保健領域における官民連携事例のシステムティック・レビュー。日本国際保健医療学会第 33 回西日本地方会, 薩摩川内, 2015 年 2 月 28 日。

論文

1. Tsutomu Kitajima: Challenges for smoking cessation intervention as part of primary health care services in developing countries. Journal of Smoking Cessation. 2014: 1-8. DOI: 10.1017/jsc.2014.28.

著書

2. 北島勉: ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成に向けて。国際関係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から—。馬田啓一・小野田欣也・西孝編著。東京。文眞堂, 2015 年。

その他 (団体役員)

1. 日本国際保健医療学会代議員
2. 日本エイズ学会誌編集委員
3. 北多摩南部地域保健医療協議会委員
4. 青梅市健康増進計画策定委員
5. 武蔵野市立保健センター運営委員会委員
6. 武蔵野市健康福祉総合計画推進会議委員
府中市立第四中学校学校運営連絡協議会委員

久野 新

講演

1. Arata Kuno: Impacts of TPP on Economic Integration and Production Linkage in Asia Pacific. 2014 ROC (Taiwan)-US-Japan Trilateral Dialogue by The Chung-Hua Institution for Economic Research, Center for Strategic and International Studies, and Institute for International Policy Studies, Taipei, 1st July 2014.
2. Arata Kuno: Policy Issues regarding the Promotion of FTA Utilization in Japan. The 26th GSDM platform seminar "Mega-FTAs and Global Trade Governance", Tokyo, 8th December 2014.

論文

1. Arata Kuno: Beyond TPP negotiation: policy proposals for promoting FTA utilization. Social Science Japan. Institute of Social Science 52:25-27, March 2015.
2. 久野新: 貿易自由化実現のための補償措置は支持されるのか?—調査実験による実証分析—。経済産業研究所, RIETI Discussion Paper 15-J-002, 2015 年。

著書

1. 久野新: メガ FTA 交渉妥結後の新たな政策課題: FTA の利用促進に向けて。国際関係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から—。馬田啓一, 小野田欣也, 西孝編著。東京。文眞堂, 2015 年。

木暮健太郎

論文

1. 木暮健太郎: 地域活性化における若年層の活用と課題: 東京都羽村市の事例から。杏林社会科学研究 30(4):15-28, 2014.
2. 木暮健太郎: メディアの発展と新しい市民像。行政&情報システム 50(1): 50-52, 2014.
3. 木暮健太郎: 国連による電子政府調査(2014 年版)。行政&情報システム 50(5): 81-83, 2014.
4. 木暮健太郎: 若年層のネット利用: 選挙から地域活性化まで。行政&情報システム 51(1) 70-73, 2015.

斉藤 崇

講演

1. Takashi Saito: An Economic Analysis on the Collection of Waste and Location of Recycling Plants. The 11th International Conference of Western Economic Association International, New Zealand, 7-11th January 2015.

論文

1. 斉藤崇, 澤田英司, 佐藤一光: 資源循環政策としての家電リサイクルシステム。環境経済・政策研究 8(1):103-106, 2015 年 3 月。

著書

1. 斉藤崇: アジアにおける国際資源循環と拡大生産者責任。国際関係の論点。馬田啓一, 小野田欣也, 西孝編著。東京。文眞堂, 2015 年。173-183。

佐藤美由紀

講演

1. 佐藤美由紀: メルコスル原加盟 4 カ国の違憲審査制の比較検討。ラテンアメリカ政経学会大会, 神戸, 2014 年 11 月 15 日。

論文

1. 佐藤美由紀: マカオ特別行政区基本法の解釈権。杏林社会科学

学研究 30(1):51-66, 2014年6月.

- 佐藤美由紀:アルゼンチンの諸州の集中型違憲審査制. 杏林社会科学 研究 30(2):25-37, 2014年9月.

著書

- 佐藤美由紀:憲法と人権:ラテン・アメリカ社会科学ハンドブック. ラテンアメリカ政経学会編. 東京. 新評論, 2014.
- Miyuki Sato: Os três modos dos efeitos da declaração de inconstitucionalidade das leis no sistema difuso: os modos brasileiro, português e japonês: *Estudo sobre o direito constitucional contemporâneo*. Ives Gandra da Silva Martins, Carlos Valder do Nascimento e Dircêo Torrecillas Ramos, Ilhéus-Bahia, Editora da UESC, 2014.

その他(メディア出演)

- 読売新聞, 2014年9月
- TV 大阪, 2014年5月

島村 直幸

著書

- 島村直幸:現代アメリカ合衆国政治外交と国際秩序の変容. アメリカ観の変遷 下. 杉田米行編. 岡山. 大学教育出版, 2014年.
- 島村直幸:中間選挙とアメリカ外交(1-4). 2014年 アメリカの中間選挙. 東京財団「現代アメリカ」研究プロジェクト. 東京. 東京財団, 2015年.
- 島村直幸:国際システムそのものを俯瞰する. 国際関係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から. 馬田啓一・小野田欣也・西孝編著. 東京. 文眞堂, 2015年.

進邦 徹夫

論文

- 進邦徹夫:東京都八王子市における持続可能なコミュニティ創出の試み. 第76回全国都市問題会議文献集, 2015年10月.

著書

- 進邦徹夫:コミュニティにおける「参加」と「協働」～次世代の参加につなげて～. 都市自治体とコミュニティの協働による地域運営をめざして—協議会型住民自治組織による地域づくり—. 東京. 公益財団法人日本都市センター, 2015年. 10-36.

高坂 宏一

論文

- 高坂宏一:インドネシア・スダ農村の変貌〔巻頭言〕. 民族衛生 81:43-44, 2015年3月.

著書

- 高坂宏一:第1章 衛生学・公衆衛生学の意義 衛生学・公衆衛生学. 東洋療法学校編. 東京. 医歯薬出版. 2015年. 1-9. (新年度用資料更新版)
- 高坂宏一:第12章 保健統計 衛生学・公衆衛生学. 東洋療法学校編. 東京. 医歯薬出版. 2015年. 227-246. (新年度用資料更新版)

知原 信良

講演

- 知原信良:これからの税制—消費税と法人税の話題を中心に—, フォーラム'80(一般社団法人総合研究フォーラム), 東京, 2014年7月1日.
- 知原信良:くらしと税金 —消費税、相続税、所得税を解き明かす—. 杏林大学公開講演会, 八王子, 2014年12月5日.

論文

- 知原信良:消費税と不動産取引 租税法研究会(論究ジュリスト = Quarterly jurist) 164(10):200-204, 2014年8月.
- 知原信良:知原信良; 上西左大信, PERSON 消費税(10%)についての諸問題. 税研 30(5):1-11, 2015年1月.

著書

- 知原信良:第12章 金融取引税(トービン税)の課題. 国際関係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から—. 馬田啓一・小野田欣也・西孝編著. 東京. 文眞堂, 2015年. 137-150.

西 孝

著書

- 西孝:アベノミクスと通貨戦争の虚実. 馬田啓一, 木村福成編著:通商政策の論点—世界貿易の潮流を読む—. 東京. 文眞堂, 2014年. 125-137.
- 馬田啓一, 小野田欣也, 西孝編:国際関係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から—. 東京. 文眞堂, 2015年.

橋本雄太郎

講演

- 橋本雄太郎:新任消防長研修:訴訟問題. 消防大学校, 調布, 2014年4月17日, 5月22日.
- 橋本雄太郎:救急現場学セミナーin秋田. 橋本救急法務研究所, 秋田, 2014年6月21日.
- 橋本雄太郎:救急現場学セミナーin首都圏. 橋本救急法務研究所, 東京, 2014年7月12日.
- 橋本雄太郎:救急活動をめぐる喫緊の法律問題. 取手地域MC協議会, 取手, 2014年8月7日.
- 橋本雄太郎, 野口宏:拡大2行為. 新日本法規出版セミナー, 名古屋, 2014年8月30日.
- 橋本雄太郎:消防活動と危機管理. 頼と絆の会, 桶川, 2014年9月7日.
- 橋本雄太郎:処置範囲拡大をめぐる法律問題. 秋田県MC協議会, 秋田, 2014年9月13日.
- 橋本雄太郎:救急科:救急訴訟問題. 消防大学校, 調布, 2014年9月25日.
- 橋本雄太郎:救急現場学セミナーin大阪. 橋本救急法務研究所, 大阪, 2014年9月28日.
- 橋本雄太郎:終末期医療を法律学の視点から考えてみよう ①～⑤. いちよう塾, 八王子, 2014年10月2, 9, 16, 23, 30日.
- 橋本雄太郎:救急活動をめぐる法律問題, 福井, 2014年10月18日.
- 橋本雄太郎:救急活動をめぐる喫緊の法律問題. 中河内地域消防本部, 大阪, 2014年10月21日.
- 橋本雄太郎:救急医療をめぐる法律問題. 江東区救急業務連絡会, 東京, 2014年10月23日.
- 橋本雄太郎:救急活動をめぐる喫緊の法律問題. 鹿児島県救急救命士会, 鹿児島, 2014年11月8日.
- 橋本雄太郎:救急医療をめぐる法律問題. 救急医療財団救急医実地修練研修, 東京, 2014年11月17日.
- 橋本雄太郎:消防行政をめぐる訴訟事案. 全国消防長会関東支部大会, 2014年11月19日.
- 橋本雄太郎:救急活動をめぐる法律問題. 東京消防庁第方面本部研修, 東京, 2014年11月28日.
- 橋本雄太郎:救急活動をめぐる法律問題. 三重県MC協議会, 三重, 2014年12月6日.
- 橋本雄太郎:救急活動現場学セミナーin茨城. 橋本救急法務

研究所, つくば, 2014 年 12 月 13 日.

20. 橋本雄太郎:救急医と薬物事案. 日本中毒学会東日本大会, 大宮, 2015 年 1 月 10 日.
21. 橋本雄太郎:救急救命士の処置範囲拡大に関する法律学の視点からの考察. 総務省消防庁全国救急隊員シンポジウム, 相模原, 2015 年 1 月 29 日.
22. 橋本雄太郎:救急活動をめぐる喫緊の法律問題. 千葉市消防局, 千葉, 2015 年 2 月 13 日.
23. 橋本雄太郎:消防活動をめぐる訴訟事案. 藤沢市消防局, 藤沢, 2015 年 2 月 16 日.
24. 橋本雄太郎:消防活動をめぐる法律問題. 印西市消防本部, 印西, 2015 年 2 月 19 日.
25. 橋本雄太郎:処置範囲拡大及び通信指令をめぐる法律問題. 茨城県医師研修, 茨城, 2015 年 3 月 15 日.
26. 橋本雄太郎:救急活動をめぐる喫緊の法律問題. 阪神地域MC協議会, 西宮市, 2015 年 3 月 17, 18 日.

論文

1. 橋本雄太郎:救急救命士の処置範囲拡大(ショックへの輸液・ブドウ糖投与)に関する法律学の視点からの留意点. 消防研修 97:29-35, 2015 年 3 月.
2. 橋本雄太郎:続・救急活動をめぐる法律問題 43~48(連載). プレビタルケア 27(2)-28(1), 2014 年 4 月-2015 年 2 月.

著書

1. 橋本雄太郎編著:救急活動の法律相談 追録6.名古屋. 新日本法規出版, 2014 年.
2. 橋本雄太郎編著:救急活動の法律相談 追録7.名古屋. 新日本法規出版, 2015 年

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (論考掲載)チーム・デンケン. 法苑 174:1-3. 名古屋. 新日本法規出版, 2015 年.

半田 英俊

論文

1. 半田英俊 : 井上財政の終焉. 杏林社会科学研究 30:29-47, 2015 年 3 月.

藤原 究

論文

1. 藤原究:宗教団体の公益性と公益活動. 早稲田大学社会安全政策研究所紀要 6:29-47, 2014 年 6 月.

マルコム・ヘンリフィールド

講演

1. Field, M.H. : The Quest for Creating Institutional Value, Leadership and Management in Higher Education for Sustainable Development. SEAMEO Retrac & RMIT International Conference, Ho Chi Minh City, Viet Nam, 24-25th July, 2014.

論文

1. Field, M.H.: Developing Health & Welfare by Digital Literacy Narratives, Kyorin University Social Science Research Association Journal 30(1):25-50, 2014 年 6 月.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. Instructor, Institute of Educational Managers, Ministry of Education and Training, Ho Chi Minh City, Viet Nam, Workshop, CT and Organisational Cultures, 18-20th December 2014.
2. Instructor(with Dr. Ian Frank), Workshop, Employment of Education, Experience Global Resource, held at Hakodate

Future University Satellite Office, Akihabara, 25th January 2014.

三浦 秀之

論文

1. Hideyuki Miura: TPP & RCEP: US-China Competitive Regional Integration & Japan. Japan Spotlight 18-19, May/June 2014.
2. 三浦秀之:アジア太平洋地域経済統合の枠組みをめぐる米中の競争. 杏林社会科学研究 30(4). 2015 年 3 月.

著書

1. 三浦秀之:TPP と RCEP:米中の相克と日本. 通商戦略の論点:世界貿易の潮流を読む.馬田啓一・木村福成編.東京. 文眞堂, 2014 年.
2. 三浦秀之:農産物貿易自由化をめぐる政策決定過程の変遷—自民党政権下の変化に注目して—. 国際関係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から—. 馬田啓一, 小野田欣也, 西孝編著. 東京. 文眞堂, 2015 年.

劉 迪

講演

1. 劉迪:中国にとって日本とは何か. 日本吉林大学校友会, 長春, 2014 年 4 月 12 日.
2. 劉迪:日中関係の可能性. 西東京日中友好協会, 西東京, 2014 年 4 月 19 日.
3. 劉迪:21 世紀日本共同体主義の崛起. 吉林大学東北亜研究院, 長春, 2014 年 6 月 20 日.
4. 劉迪:中日関係の現状と展望. 黒龍江大学, 哈爾濱, 2014 年 6 月 23 日.
5. 劉迪:日中関係の過去、現在と未来. 全日本中国人博士協会, 2014 年 12 月 20 日.

論文

1. 劉迪:中日信任外交(2014 年 7 月『外交観察』(広東中観發展研究院主催, 社会科学文献出版社)転載). 21 世紀商業評論, 2014 年 4 月.
2. 劉迪:為何“華二代”成績傲人. 日本新華僑報, 2014 年 4 月.
3. 劉迪:中日民間外交與信任. 日本新華僑報, 2014 年 4 月.
4. 劉迪:中国需要創造“複雜外交”模式. 新民週刊, 2014 年 4 月.
5. 劉迪:悠久的鐘声. 日本新華僑報, 2014 年 5 月.
6. 劉迪:不妨開展對日“地方外交”. 新民週刊, 2014 年 5 月.
7. 劉迪:亞共体は超越中日衝突的方式. 中文導報, 2014 年 5 月.
8. 劉迪:渡辺淳一的回憶. 日本新華僑報, 2014 年 5 月.
9. 劉迪:亞洲, 將是一個整體. 日本新華僑報, 2014 年 5 月.
10. 劉迪:当兩個國家不友好後. 日本新華僑報, 2014 年 6 月.
11. 劉迪:怎樣面對東亞民族主義?. 新民週刊, 2014 年 6 月.
12. 劉迪:政治的周期問題與結構方法. 日本新華僑報, 2014 年 6 月.
13. 劉迪:近代日本中國觀與認知模式. 日本新華僑報, 2014 年 6 月.
14. 劉迪:為何仍要負笈日本?. 新民週刊, 2014 年 7 月.
15. 劉迪:應該畢業了的“速成班”. 日本新華僑報, 2014 年 7 月.
16. 劉迪:中日關係中的美國因素. 日本新華僑報, 2014 年 7 月.
17. 劉迪:如何拿捏政黨與個人的關係?. 日本新華僑報, 2014 年 7 月.
18. 劉迪:為何中方“冷淡”日本民主黨?. 新民週刊, 2014 年 7 月.
19. 劉迪:強拆報亭是無知和傲慢. 環球時報, 2014 年 8 月.
20. 劉迪:眼睛只盯着中日高層, 或有錯覺. 環球時報, 2014 年 10 月.
21. 劉迪:日本考研, 外語并非絕對條件. 新民週刊, 2014 年 11 月.

22. 劉迪:高倉健與中日關係の“蜜月期”. 環球時報, 2014年11月.
23. 劉迪:卸任大使後的丹羽宇一郎. 新民週刊, 2014年12月.
24. 劉迪:日本応留意公祭日的和平宣示. 環球時報, 2014年12月.
25. 劉迪:“新亞洲主義”能否新年崛起?. 新民週刊, 2015年1月.
26. 劉迪:加強民族認同絲毫不能放鬆. 環球時報, 2015年3月.

著書

1. 劉迪:21世紀中日關係轉變的結構要因. 日本学研究記念文集. 陳百海編. 東京. 黒龍江大学出版社, 2014年.
2. 劉迪:中国外交戰略の容変—「周辺外交」の意味を問い直す—. 国際關係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から—. 馬田啓一, 小野田欣也, 西孝編著. 東京. 文眞堂, 2015年.
3. 劉迪:現代中国の中央と地方關係. 現代中国政治概論. 熊達雲, 毛桂榮, 王元, 劉迪編著. 東京. 明石書店, 2015年.
4. 劉迪:中国政治におけるシンクタンク. 現代中国政治概論. 熊達雲, 毛桂榮, 王元, 劉迪編著. 東京. 明石書店, 2015年.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. 中日關係のために促進する留学生と市民の交流. 在日中国人の33人のそれでも私たちが日本を好きな理由. 趙海成著. 東京. CCCメディアハウス, 2015年3月.

渡辺 剛

講演

1. 渡辺剛:超低支持率政権下の台湾情勢. 内閣府中国研究会, 東京, 2014年5月19日.

論文

1. 渡辺剛:信用失った一国二制度—民主化デモは台湾に飛び火. エコノミスト 92(46):14, 2014年10月.

その他(団体役員)

1. 内閣府中国研究会研究委員.
2. 公益法人交流協会奨学金審査委員.

糟谷 崇

論文

1. 糟谷 崇:ビッグデータとマネジメント. 杏林社会科学研究 30(2):39-52. 2014年9月.
2. 糟谷 崇:高等教育の質的転換と学習法. 杏林社会科学研究 30(3):17-33. 2014年12月.

加藤 拓

講演

1. Taku Kato: How Should Service Retailers Develop Store Networks?—Case Study for Japanese School and Education Service—. 2014 Global Marketing Conference at Singapore, Marina Bay Sands, July 2014.

論文

1. Taku Kato: Should Service Retailers Expand Store Networks Nationally?—Case Study of Cramming School Business in Japan—. International Review of Management and Business Research (IRMBR) :376-385 ,(Accepted).

木村 有里

論文

1. 木村有里:タイ2014年クーデターに関する一考察—タイ社会における人間の価値の問題—. 地域文化研究 16:130-153, 2015年3月.

著書

1. 木村有里:グローバリゼーションと経営の多様性—「働くこと」の

再考—. 国際關係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から—. 馬田啓一, 小野田欣也, 西孝編著. 東京. 文眞堂, 2015年. 127-136.

田中 信弘

講演

1. 田中信弘:CSR 国際規格と日本企業の対応—非財務情報開示と企業実践—. 日本経営学会関東部会シンポジウム(『CSR の新課題への対応—非財務情報開示と企業実践』), 東京, 2014年12月.
2. 田中信弘:ソフトローとしての CSR 国際規格の有効性—ISO26000 による情報開示とエンゲージメント—. 日本経営学会関東部会報告, 千葉, 2014年5月

著書

1. 田中信弘:EU におけるコーポレート・ガバナンス—『遵守か説明か』原則を中心に. 国際關係の論点—グローバル・ガバナンスの視点から—. 馬田啓一, 小野田欣也, 西孝編著. 東京. 文眞堂, 2015年.
2. 田中信弘:三方よしのための CSR 報告. 三方よしに学ぶ, 人に好かれる会社. 水尾順一・田中宏司編. 滋賀. サンライズ出版, 2015年.

その他(メディア出演)

1. (新聞掲載)産経新聞. 大和信金 犯罪率連動の定期預金 実益兼ね, 専門家も注目. 2014年4月24日.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (社会活動)日本マネジメント学会関東部会コメンテーター, 2014年5月.
2. (社会活動)日本経営学会全国大会自由論題報告司会, 2014年9月.

その他(団体役員)

1. 日本経営学会幹事
2. 財政改革検討委員会委員
3. 日本マネジメント学会理事

原田奈々子

特許等知的財産関係, 報告書等

1. 原田奈々子:近世日本の簿記法—三井越後屋呉服店の決算構造と特徴—. 慶應義塾大学三田商学会特別報告, 2015年3月19日.